

# 概況

## 1. 牛久市の沿革

### [古代]

農耕を中心とした生活が営まれていたことが、数多くの古墳等の遺跡で明らかになります。

### [中世・近世]

平安時代以来、水戸を経て陸前に至る街道筋の集落が形成されるようになり、江戸時代には旧牛久町内に、江戸と水戸を結ぶ水戸街道の宿場町が形成されました。

### [近代]

明治に入って新政府のもとで旧牛久町としての歩みを続け、昭和29年にいって旧牛久町と岡田村との合併、さらに昭和30年奥野村との合併により、人口約15,000人の牛久町として出発しました。

この当時は、農産物を主産地としたのどかな純農村地帯でした。

### [現代]

昭和41年に首都圏近郊整備地帯としての指定を受けて以来、首都圏のベッドタウンとして土地区画整理事業、民間住宅造成等の住宅建設が進み、人口も急増傾向となり、昭和55年には4万人、昭和59年には5万人を越え、さらに昭和61年には茨城県内19番目の市として「牛久市」が誕生しました。

平成5年には、首都圏基本計画や第四次全国総合開発計画に基づき、東京への一極集中を是正するため、業務施設を集中させて東京都区部の都市機能の受け皿となる、「業務核都市」の整備を図る、「土浦・つくば・牛久業務核都市基本構想」が国の承認を受けました。

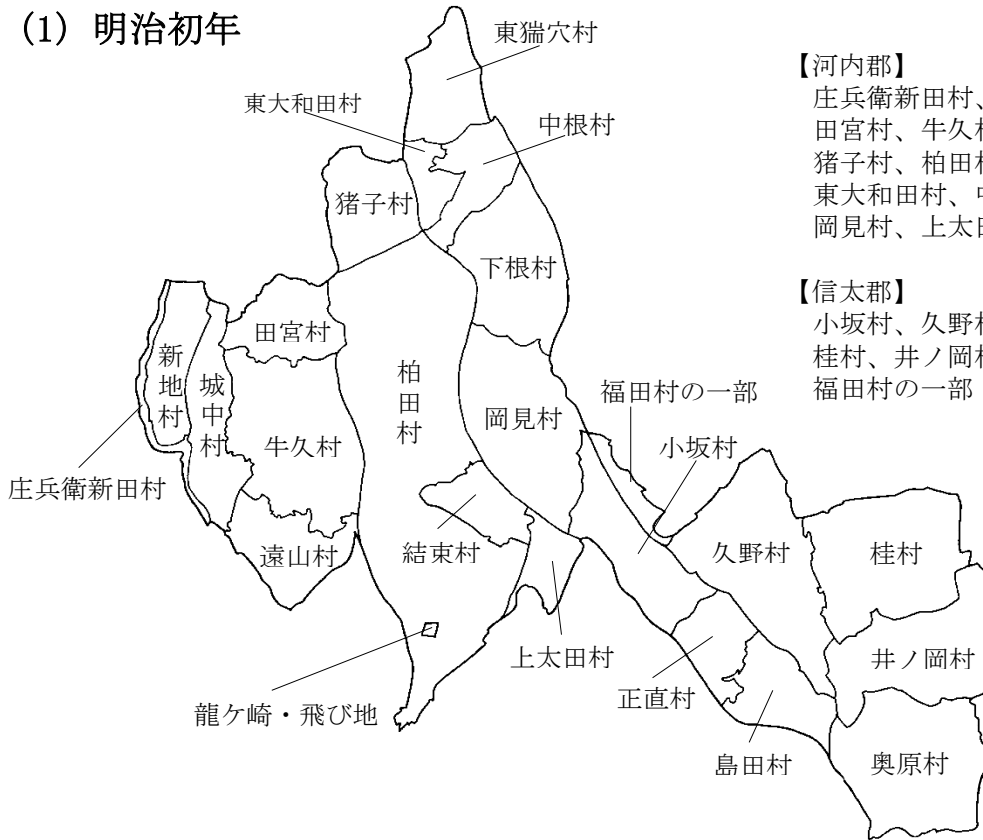
牛久北部・東下根特定土地区画整理事業の北部ニュータウンは、平成10年にJR常磐線に「ひたち野うしく駅」の開業、まちびらきが行われ、新市街地が形成されています。

また、市内全体では平成11年にクリーンセンターや斎場の稼働をはじめ、道路、上下水道、公園等の基盤整備が進められ、県南地域の中核をなす拠点都市を目指しています。

各業務核都市間を結ぶ首都圏中央連絡自動車道（圏央道）は、都心からおおよそ40～50km圏を環状に連結する自動車専用道路で、平成12年2月には県内で一部工事が着工されました。平成15年3月には、つくば牛久インターチェンジが開通、平成19年3月にはつくば牛久ICから阿見東IC間が開通しました。

平成29年2月には圏央道茨城県内区間が全線開通し、常磐道、関越道など6つの高速道路とつながり、今後様々な効果が期待できます。

(1) 明治初年



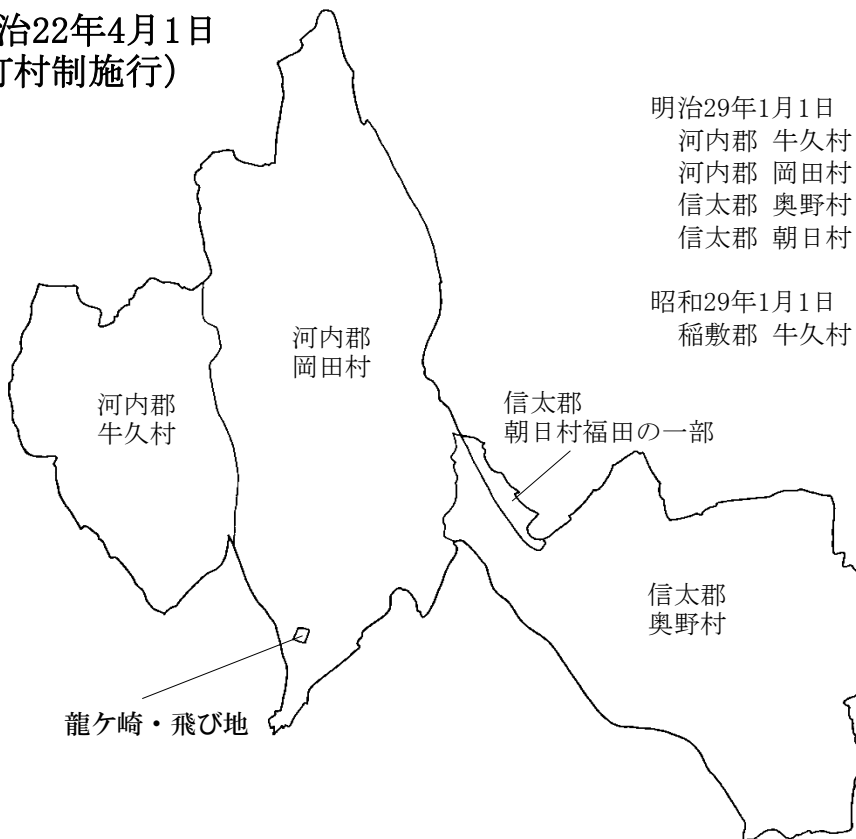
【河内郡】

庄兵衛新田村、新地村、城中村、田宮村、牛久村、遠山村、猪子村、柏田村、結束村、東獺穴村、東大和田村、中根村、下根村、岡見村、上太田村

【信太郡】

小坂村、久野村、正直村、島田村、桂村、井ノ岡村、奥原村、福田村の一部

(2) 明治22年4月1日  
(町村制施行)



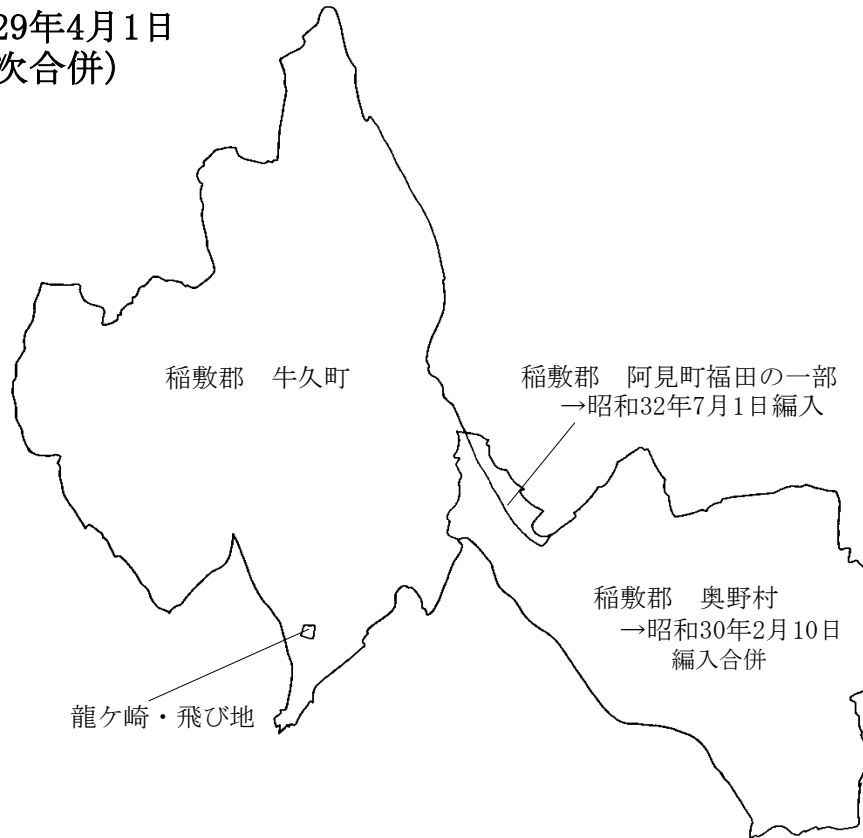
明治29年1月1日 改称

河内郡 牛久村 → 稲敷郡 牛久村  
河内郡 岡田村 → 稲敷郡 岡田村  
信太郡 奥野村 → 稲敷郡 奥野村  
信太郡 朝日村 → 稲敷郡 朝日村

昭和29年1月1日 町制施行

稲敷郡 牛久村 → 稲敷郡 牛久町

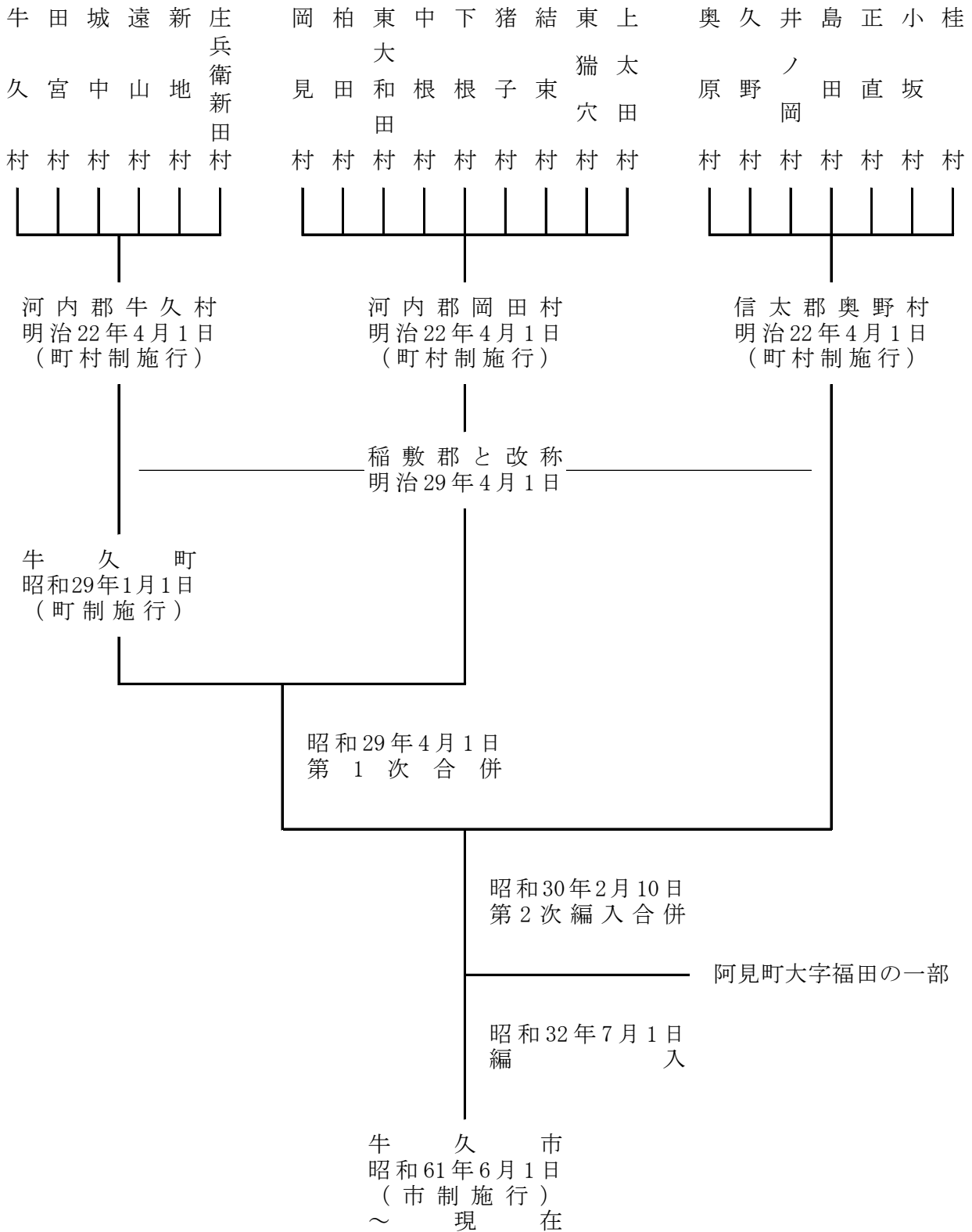
(3) 昭和29年4月1日  
(第1次合併)



(4) 昭和61年6月1日  
(市制施行)  
～現在の市域

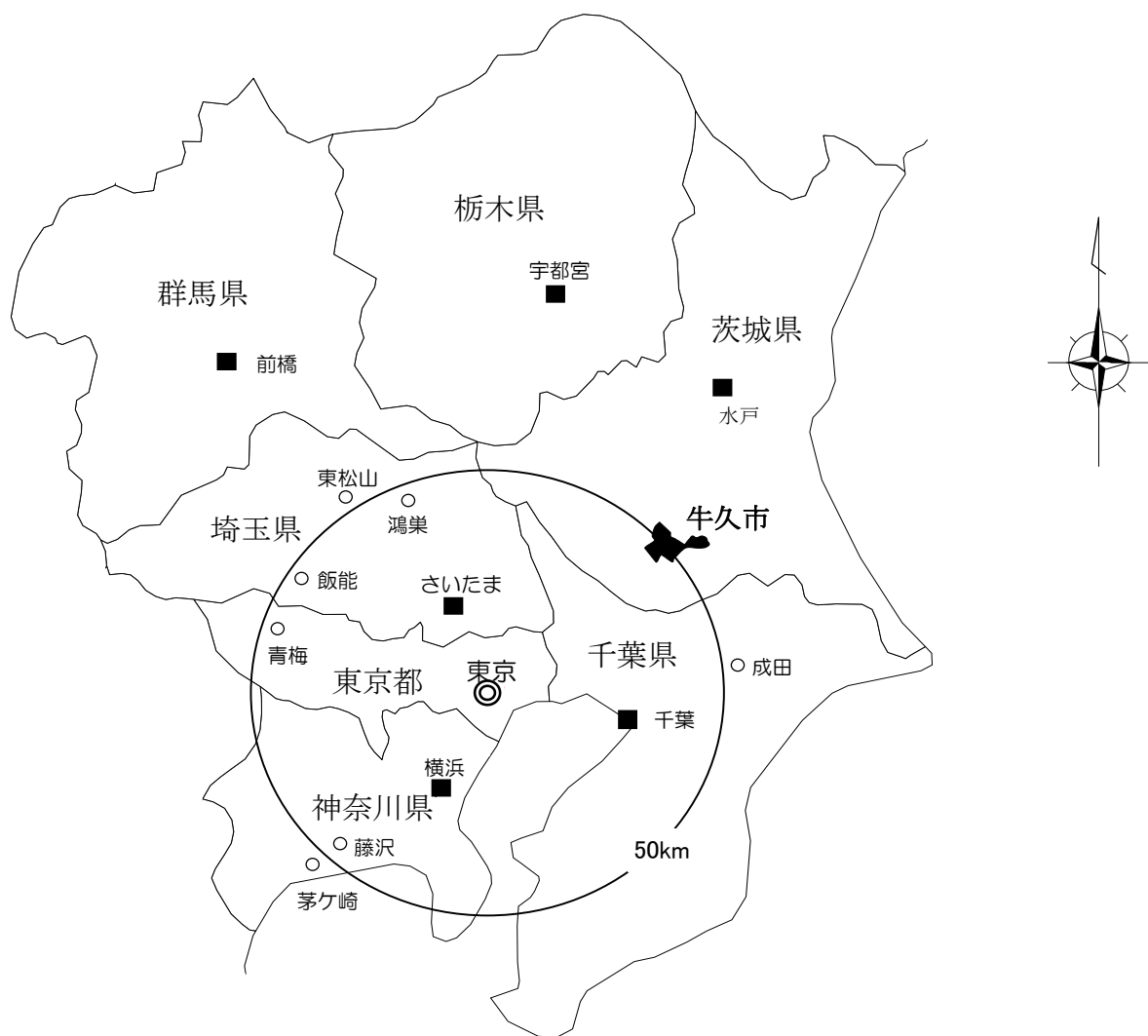


# 牛久市の沿革



## 2. 牛久市の位置と地勢

面積	市役所の位置		広 狭		標 高
	東 経	北 緯	東 西	南 北	
					最 低 4.4m
58.92km <sup>2</sup>	140° 08' 59"	35° 58' 46"	14.509km	10.663km	最 高 30.1m
					市役所 21.4m



市役所所在地 〒300-1292  
茨城県 牛久市 中央 3丁目15番地1

周 囲 約54km

### 3. 牛久のあゆみ

西暦	年号	月	あゆみ
1868	明治元		牛久沼沿岸諸村水害。
1869	明治2		山口弘達、明治政府より牛久藩知事を命ぜられる。
1871	明治4		廃藩置県により、牛久藩は牛久県(県知事・山口弘達)となる。 新治県の誕生により、牛久県が廃される。
1872	明治5		牛久小学校開校。
1873	明治6		井ノ岡小学校開校。
1875	明治8		下根・岡見小学校開校。 牛久沼沿岸諸村大洪水。
1877	明治10		女化原野開拓事業開始。
1879	明治12		城中小学校開校。
1880	明治13		久野小学校開校。
1881	明治14		柏田・島田小学校開校。
1883	明治16		牛久・城中小学校が合併して、牛久小学校となる。
1884	明治17		明治天皇、女化原で行われた近衛砲兵実弾演習を天覧。
1886	明治19		井ノ岡・久野・島田の各小学校が合併し、奥原尋常小学校となる。
1889	明治22		町村制実施に際し、従来の諸村が合併し、牛久・岡田・奥野村ができる。
1893	明治26		女化尋常小学校開校。
1896	明治29		土浦経由で水戸～東京間鉄道全通し、牛久駅ができる。
1903	明治36		初代神谷伝兵衛、牛久シャトーを建築。
1909	明治42		岡田村立農学校開校。
1912	明治45		牛久村立実業補習学校開校。
1917	大正6		小川芋銭、珊瑚会第3回展に「三人笑」「森羅万象」「盤山肉案」を出品し、日本美術院同人となる。
1920	大正9		国勢調査実施(牛久村 2,545人 岡田村 3,742人 奥野村 3,302人)
1925	大正14		〃 (牛久村 2,646人 岡田村 3,741人 奥野村 3,341人)
1930	昭和5		〃 (牛久村 2,813人 岡田村 3,958人 奥野村 3,337人)
1935	昭和10		〃 (牛久村 2,965人 岡田村 4,172人 奥野村 3,318人)
1938	昭和13		小川芋銭没す。
1940	昭和15		国勢調査実施(牛久村 3,218人 岡田村 4,336人 奥野村 3,440人)
1941	昭和16		第2次世界大戦始まる。 牛久沼沿岸諸村大洪水。
1947	昭和22		牛久・岡田・奥野農業協同組合設立。 牛久・岡田・奥野中学校開校。 臨時国勢調査実施(牛久村 5,149人 岡田村 5,590人 奥野村 3,957人)
1949	昭和24		牛久・岡田・奥野村教育委員会設置。
1950	昭和25		国勢調査実施(牛久村 5,100人 岡田村 5,860人 奥野村 4,216人)
1952	昭和27		奥野を通る土浦～龍ヶ崎間の定期バス開通。 国道6号線全線開通。
1954	昭和29	1月	牛久村が牛久町となる。
		4月	牛久町と岡田村が合併、初代町長に川村衛氏就任。 (2月1日現在 牛久町 5,317人 1,103世帯、岡田村 5,850人 1,031世帯)
1955	昭和30	2月	牛久町が奥野村を編入する。 (1月1日現在 牛久町 11,167人 2,134世帯、奥野村 4,417人 771世帯)
		7月	町営青果市場開設。
		10月	国勢調査実施(15,627人 2,915世帯)
1956	昭和31	2月	県下初の有線放送電話開通。
1957	昭和32	2月	社会福祉協議会設立。
1958	昭和33	4月	「広報うしく」を創刊。
1960	昭和35	7月	町章(現市章)を制定。
		10月	国勢調査実施(16,131人 3,206世帯)
1962	昭和37	1月	牛久町商工会設立。
		4月	牛久・岡田両中学校が統合し、牛久第一中学校となる。 奥野中学校が牛久第二中学校と改称。
1963	昭和38	10月	2代町長に宮本進氏。

西 暦	年 号	月	あ ゆ み
1964	昭和39	4月	東洋大学附属牛久高等学校開校。
		10月	上水道の給水始まる。
1965	昭和40	4月	奥野第一小学校・同奥原分教場・奥野第二小学校が統合し、奥野小学校と改称。
		10月	国勢調査実施 (17,203人 3,777世帯)
1966	昭和41	6月	首都圏近郊整備地帯指定。
		12月	都市計画区域指定。
1967	昭和42	10月	小野川流域土地改良事業始まる(300ヘクタール)。
1968	昭和43	6月	公社電話がダイヤル化。
1969	昭和44	4月	牛久沼が近郊緑地保全区域指定。
1970	昭和45	10月	国勢調査実施 (19,372人 4,617世帯)
		11月	都市計画法により、市街化区域・市街化調整区域計画決定(780ヘクタール)。
1971	昭和46	4月	岡田小学校、同下根・女化両分校が統合。
		6月	福祉センター開設。
		11月	県下初の草刈条例制定。
1972	昭和47	3月	(財)牛久町開発公社設立。
		6月	岡田・奥野・女化農協が合併し中央農協を設立。 (50年12月に牛久農協が最終合併)
1973	昭和48	11月	稲荷川流域で特殊ほ場整備事業始まる。
		12月	牛久町総合計画書策定
1974	昭和49	8月	新庁舎(現市庁舎)完成。
1975	昭和50	4月	牛久消防署開設。
		10月	3代町長に大野正雄氏就任。
			国勢調査実施 (27,670人 7,148世帯)
1976	昭和51	2月	初の福祉バスを運行。
		4月	広報紙を月2回(1日・15日号)発行。 牛久消防署新庁舎完成。
1977	昭和52	3月	牛久町総合計画策定
		4月	牛久第二小学校開校。
		11月	町民体育大会・文化祭を復活開催(以後毎年)
1978	昭和53	1月	町花・町木を制定。
		3月	公共下水道供用開始。
		10月	観光協会設立(牛久沼畔で初の花火大会)
1979	昭和54	4月	中根小学校・牛久第三中学校開校。
		6月	駅西口～刈谷線街路開通。 図書館開館。
1980	昭和55	4月	向台小学校・県立牛久高等学校開校。 消防団全分団が車両化。
		6月	貝塚～中根線・牛久～学園線両街路開通。 電子計算機を導入。
		10月	国勢調査実施(40,164人 10,697世帯)
		11月	運動公園野球場オープン。
1981	昭和56	4月	南裏～蛇喰線街路開通。
		8月	「第1回牛久ふるさとまつり」開催 *以後、「うしくかっぱ祭り」となり、昭和60年を除き毎年開催
		12月	町民号実施
1982	昭和57	4月	神谷小学校・下根中学校開校。
1983	昭和58	4月	初の盲人用音声信号機が作動。
		6月	運動公園テニスコートオープン。
1984	昭和59	1月	三日月橋地区公民館開館。
		10月	牛久駅西口再開発ビル建築工事着工。 牛久町総合計画策定
1985	昭和60	4月	カナダ・ホワイトホース市と姉妹都市締結。 牛久南中学校開校。
		10月	国勢調査実施(51,926人 14,318世帯)
1986	昭和61	3月	筑波南桂工業団地完成。
		5月	水府村(現常陸太田市)との姉妹都市締結。
		6月	市制施行。
1987	昭和62	3月	エスカード牛久(再開発ビル)竣工。 牛久消防署西部出張所竣工。

西 暦	年 号	月	あ ゆ み
1987	昭和62	4月	市民センター・中央公民館竣工。 県立牛久栄進高校開校。
1988	昭和63	4月	市保健センター完成。
		6月	宮城県色麻町との親善友好都市締結。
		10月	市役所駅前出張所開設。
1989	平成元	4月	奥野公民館開館。 奥野運動広場オープン。
		5月	市役所奥野出張所開設。
1990	平成2	4月	牛久自然観察の森開園。 総合運動公園ナイター設備完成。
		4月	筑波南奥原工業団地着工。
		5月	第1回レンゲの里ふれあい祭り開催。
		6月	牛久運動公園に市民プールドーム完成。
		7月	牛久運動広場オープン。 オーストラリア・オレンジ市と国際姉妹都市締結。
		10月	国勢調査実施(60,693人 17,884世帯)
		11月	町界町名地番整理事業により、上柏田(一丁目から四丁目)を実施。 (一部を除く)
		12月	田宮東土地区画整理事業計画決定、事業認可。
1991	平成3	3月	牛久市第1次総合計画策定
		8月	牛久自然観察の森、入場者5万人達成。
		10月	第2代市長に大野喜男氏就任。
1992	平成4	2月	北部ニュータウン事業認可(牛久北部特定区画整理事業)
		3月	特別養護老人ホーム「博慈園」オープン。
		4月	上池親水公園「せせらぎの里」オープン。
		9月	学校週5日制を導入(月1回第2土曜日)
		11月	第45回優良公民館表彰で中央公民館が受賞。 柏田土地区画整理事業竣工。 牛久市暴力排除推進協議会発足。 牛久北部特定区画整理事業起工。 町界町名地番整理事業により、南(一丁目～七丁目)を実施。
1993	平成5	2月	土浦・つくば・牛久業務核都市基本構想承認。
		3月	市役所土曜閉庁を導入。 筑波南奥原工業団地完成。
		4月	市立中央図書館オープン。 総合福祉センターオープン。
		9月	運動公園体育館オープン。
		10月	町界町名地番整理事業により、神谷(一丁目～六丁目)を実施。
		11月	牛久自然観察の森、入場者10万人達成。
		12月	牛久法務総合庁舎開設。
1994	平成6	2月	防災行政無線の運用開始。
		3月	牛久駅東西福祉エスカレーター運行開始。
		6月	首都圏中央連絡自動車道(圏央道)ルート、及びアクセス道路が都市計画決定。 第1回障害者カラオケ歌謡大会開催。 第1回牛久ゴッポ市開催。
		9月	市営西口駐輪場オープン。
		12月	牛久消防署に、はしご車配置。
1995	平成7	4月	牛久テレホンガイドサービス「うしくハローコール」開始。 「ふくしの森」オープン。
		10月	国勢調査実施(66,338人 20,754世帯) 町界町名地番整理事業により、中央(一丁目～五丁目)を実施。
		11月	町界町名地番整理事業により、さくら台(一丁目～四丁目)を実施。
1996	平成8	3月	牛久市第1次総合計画後期基本計画策定 牛久市・阿見町斎場組合設立。
		6月	市制施行10周年記念式典。 田宮跨線橋開通。
		10月	下町～栄町線(全線)開通。
1997	平成9	1月	ごみ指定袋制度スタート。
		8月	牛久市人口7万人達成。



西 暦	年 号	月	あ ゆ み
1998	平成10	3月	JR常磐線「ひたち野うしく駅」開業。
		4月	ひとひと 人人ニュータウン街びらき。
1999	平成11	9月	牛久市総合防災訓練実施。
		3月	うしくあみ斎場開業。
		5月	牛久クリーンセンター竣工。
		7月	牛久市名誉市民章贈呈式(横田榮一氏)
2000	平成12	8月	茨城県・牛久市総合防災訓練。
		12月	うしくあみ斎場、ISO14001環境マネジメントシステム認証取得。
		4月	岡見保育所、猪子保育所、下根保育所を統合し、 牛久市立下根保育所開設。 情報公開制度実施。
		6月	「いまだこサービス」事業を県内他市町村に先駆けて実施。
		10月	国勢調査実施(73,258人 24,763世帯)。 牛久市役所本庁舎改修工事(第1期工事)。
		11月	岡田地区を対象に、牛久市総合防災訓練を実施。
2001	平成13	12月	町界町名地番整理事業により、田宮二丁目及び三丁目の一部を実施。 広報モニター設置点灯式。
		3月	牛久市第2次総合計画策定
		4月	適応指導教室「きぼうの広場」開設。
		6月	「うしく環境フェスタ2001」開催。
		7月	「知って学んで！おしえ隊」牛久市行政情報出前講座開設。 うしくエコオフィス行動計画実施。
		10月	奥野地区を対象に、牛久市総合防災訓練を実施。
		1月	総合窓口開設。平日及び日曜に、11種類の諸証明発行業務を開始。
2002	平成14	5月	奥野出張所で、9種類の諸証明発行業務を開始。
		8月	住民基本台帳ネットワークシステム稼働。
		9月	牛久市役所本庁舎改修工事(第2期工事)。
		10月	牛久市知的障害者デイサービスセンター「わくわく」開設。 牛久地区を対象に、牛久市総合防災訓練を実施。
		11月	合併に関する市民意向調査を実施。
2003	平成15	2月	市民満足度調査(第1回)を実施。
		3月	圏央道つくば牛久インターチェンジ開業。
		4月	市内小中学校が2学期制導入。 牛久市社会福祉協議会と牛久市高齢者福祉事業団が統合し、牛久市社会福祉協議会となる。
		6月	「牛久市消費生活センター」開設。
		7月	コミュニティバス「かっぱ号」9路線で運行開始。
		9月	牛久市子育てハンドブック「みんなで応援 子育て中のあなたへ」刊行。 「総合相談室」開設。
2004	平成16	10月	第3代市長に池辺勝幸氏就任。
		4月	市民センター及び各地区公民館が牛久市生涯学習センターとして改称。
		7月	子育て支援の場として「すくすく広場」を開設。 牛久市留守家庭サマーサポート事業実施。
		8月	市の行財政改革に関して早稲田大学と協働基本協定を締結。
		9月	牛久駅西口北街なか再生型土地区画整理事業着工。
2005	平成17	10月	牛久市青果市場において第1回「とくとく市」開催。
		4月	牛久警察署開署。 教育センター「きぼうの広場」開所
		5月	牛久市メールマガジンを開始。
		9月	牛久市第4次行財政改革に関する諮問の答申。 国勢調査実施(77,223人、27,917世帯)。
		10月	市内進出企業に対する奨励金を開始。 学校図書館ネットワークスタート。
		12月	姉妹都市提携15周年記念にオーストラリア・オレンジ市市民団来市。
		12月	総合福祉センター内にのびのび広場開設。

西 暦	年 号	月	あ ゆ み
2006	平成18	2月	戸籍のコンピュータ化
		4月	牛久市観光協会会章を公募にて決定。 牛久市スポーツ振興基本計画の策定。
2007	平成19	5月	第1回全国公募絵画展「ビエンナーレうしく」開催。
		12月	ブリアントヴィルうしく～輝きの街～東ロライトアップ実施。
		2月	高齢者移送サービスモデル事業開始。
		3月	圏央道つくば牛久IC～阿見東IC間開通。 市営前山住宅完成。 うしく河童米デビュー。
		7月	牛久まちづくりフォーラム開催 牛久ワインビレッジ構想説明。 常陸太田市との姉妹都市調印式。
2008	平成20	9月	第23回国民文化祭・いばらき2008「音楽とアートによる多次元コンサート」プレ大会開催。
		10月	都市計画街路城中・田宮線一部開通。
		1月	牛久警察署との暴力団等の排除に関する協定書の締結。
		2月	うしく環境シンポジウム開催。
2009	平成21	6月	「シャトーカミヤ」が国指定重要文化財に指定。 「小川芋銭研究センター」誕生。
		10月	三日月橋・奥野生涯学習センターの夜間開館スタート。
		1月	法テラス茨城牛久地域事務所オープン。
		4月	牛久消防署東部出張所開設。 バイオディーゼル燃料製造施設稼動。 市内店舗等とのレジ袋削減の取り組みに関する協定書の締結。
2010	平成22	7月	牛久市暮らしの便利帳完成。 イオンアグリ創造(株)との特定法人貸付制度を利用した農業算入に関する協定書の締結。
		11月	ひたち野地区こ線橋開通。 100%牛久産菜種油を学校給食に提供。
		1月	牛久市人口8万人突破。
		4月	ひたち野うしく小学校(市内8番目の小学校)が開校。 ひたち野リフレプラザ開設。 かっぱの里生涯学習センター新設。
		6月	地区社会福祉協議会(地区社協)が二小学区に設立される。
2011	平成23	9月	稲敷広域消防本部管内でのドクターカー運用開始。
		10月	国勢調査実施(81,684人 31,569世帯)
		11月	小菊県花き銘柄産地指定。
		1月	刈谷地区で生ごみ堆肥化モデル事業開始。 牛久ふれあい保育園が向台小学校内に開園。
		2月	農業法人うしくグリーンファーム(株)を設立。
		3月	東日本大震災発生、市内でも震度5強を記録。 親善友好都市の宮城県色麻町と姉妹都市の常陸太田市へ災害救援活動。 牛久市第3次総合計画策定
		4月	宮城県亘理町へ救援派遣隊を派遣(5月まで)。 NPO法人が過疎地有償運送事業を開始。
6月	ひたち野うしく郵便局開設。		
2012	平成24	7月	ひたち野うしく小学校屋内プール棟・水辺の塔と池完成。
		10月	市放射能対策室を設置。
		11月	稀勢の里関が大関昇進。
		3月	ひたち野地区主要道路の愛称が「ひたち野ひがし通り・みずべ通り・ひたち野大通り・運動公園通り」に決定。
		4月	スローシティうしくチャンネル放送開始。
		7月	田宮中柏田～市道441号線間開通。
2013	平成25	9月	日産プリンス茨城販売(株)と災害時における電気自動車による電力の供給に関する協定を締結。
		10月	牛久沼散策路の愛称が「牛久沼かっぱの小径」に決定。
		2月	ご当地ナンバープレートの交付開始。(原付 牛久市Ver.) 市内3つの社会福祉法人と災害発生時における福祉避難所の指定並びに設置及び運営に関する協定を締結。
		4月	市税等のコンビニ納付開始。 エスカードプラザがオープン。
		5月	土浦ケーブルテレビと災害協定を締結。
		6月	バイオマス産業都市構想の認定を受ける。

西 暦	年 号	月	あ ゆ み		
2013	平成25	10月	市内金融機関、新聞配達店と要援護者見守り活動等への協力に関する協定を締結。		
2014	平成26	12月	グレーヴェ・イン・キアンティ市と友好都市を締結。		
		2月	牛久産小麦のレシピを募集した第1回うしくスローフードコンテスト開催。		
		3月	岡田小学校新体育館竣工。		
		4月	市町村で全国初となるスローフード運動に参加。		
2015	平成27	11月	環境経済部を環境部と経済部に分割する組織改編。		
		12月	牛久産ブドウで醸造したワイン「レガメ」(絆)を販売開始。		
		12月	牛久市男女共同参画都市宣言。		
		3月	JR常磐線が品川駅乗り入れ開始。		
		4月	牛久市の特産品を返礼品としたふるさと寄附受付開始。		
			牛久市議会議員選挙施行。女性議員が9人となり議会の4割を占める。		
		6月	牛久市公認キャラクターとして怪人「ラーシク」を発表。		
		8月	「FMうしくうれしく放送」開局。		
2016	平成28	10月	第4代市長に根本洋治氏就任。		
			国勢調査実施(84,317人 33,223世帯)		
		4月	市職員消防団結成。		
			牛久運動公園野球場リニューアル イ・リーグ戦開催。		
		6月	市制30周年。		
		7月	シャトーカミヤ 震災復旧後記念館公開再開。		
		8月	牛久駅東口「やっぺやっぺ広場」完成。		
		10月	牛久第一中学校 全日本合唱コンクール銀賞入賞。		
2017	平成29	12月	ひたち野うしく小学校「うしく土曜カップ塾」「うしく放課後カップ塾」活動が、文部科学大臣表彰を受賞。		
		1月	稀勢の里関 初場所で優勝し横綱昇進。		
		2月	第72代横綱稀勢の里関 牛久市祝賀パレード実施。		
		3月	シャトーカミヤにてプロジェクトマッピングを開催。		
		9月	市と(社)宅建協会の協働で「空家バンク」開設。		
			「シャトーカミヤ」から「牛久シャトー」へ改名。		
		10月	市職員による「避難所従事職員」の任命。		
		2018	平成30	3月	牛久第一中学校新体育館竣工。
				7月	奥野小学校及び牛久第二中学校が、県内公立小中学校初のユネスコスクール加盟認定校となる。
8月	水戸信用金庫と災害時における支援協力に関する協定を締結。				
2019	平成31	10月	図柄入り土浦ナンバープレートの交付開始。		
			牛久第一中学校 全日本合唱コンクール金賞入賞。		
		12月	「おくのキャンパス」の地域学校協働活動が、文部科学大臣表彰を受賞。		
		1月	稀勢の里関引退を表明。荒磯を襲名。		
		2月	稀勢の里関郷土後援会 激励会・感謝のつどい開催。		
		3月	オエノンホールディングス(株)と包括連携に合意する協定を締結。		
		4月	牛久運動公園武道館を開館。		
		5月	元号が「平成」から「令和」へ改元。		
令和元		9月	第74回国民体育大会(いきいき茨城ゆめ国体)空手道競技開催。		
		10月	第74回国民体育大会(いきいき茨城ゆめ国体)軟式野球競技開催。		
		10月	第74回国民体育大会(いきいき茨城ゆめ国体)軟式野球競技開催。		
		12月	オエノンホールディングス(株)と牛久シャトー全体の賃貸借契約を締結。		

## 4. 市章、市民憲章、市の花・木・鳥

### 市 章（昭和35年7月1日制定）

全国から公募した約1,000点の中の当選作。□  
牛を大鵬（おおとり）の両方のつばさに見立て、  
久はカタカナ（ク）を円形にまいて、協力と円満  
を示しています。



### 牛久市民憲章（昭和61年6月1日制定）

わたくしたちは、牛久市民としての誇りをもち、みんなの力で文化の  
香り高い住みよいまちをつくるために、この憲章を定めます。

1. 水と緑を愛し 美しいまちをつくりましょう
1. 未来をのぞみ 明るいまちをつくりましょう
1. 心をやさしく 福祉のまちをつくりましょう
1. 日々をはげみ 豊かなまちをつくりましょう
1. 笑顔をたやさず 平和なまちをつくりましょう

## [市の花]



### 菊

(昭和53年1月1日制定)

キク目キク科の多年草。梅、竹、蘭とともに四君子のひとつとされ、品種が非常に多く、花色は白、黄、紫など数種あり、園芸、また食用としても広く親しまれている。牛久の気候、風土に適したものとして市民からの公募により制定。毎年秋には、市内各地で菊花展が開かれ、自慢の作品が覇を競っている。

## [市の木]



### 金木犀 (キンモクセイ)

(昭和53年1月1日制定)

シソ目モクセイ科の常緑灌木。雌雄異株だが我が国で栽培されるのはすべて結実しない。花は赤黄色で強烈な芳香を放つ。車の排ガスなどに弱いと言われる。牛久の気候風土に適していることもさることながら、公害測定のパロメータの意味も含めて選ばれた。

## [市の鳥]



### 鶯 (ウグイス)

(昭和61年6月1日制定)

スズメ目ウグイス科の小鳥。新生牛久市の門出を祝い、うぐいすが未来永劫にわたって当市に生息できるような、緑と花いっぱいの環境づくりに励むことを念願し、牛久市誕生の日(6月1日)を期して、市制施行委員会が市の鳥に選定したものである。

## 5. 気象概況

区分 年 月	気 温 (°C)			湿 度 (%)			風 速 (m/s)					雨量 (mm)	
	最高	最低	平均	最高	最低	平均	最大風速(日数)				平均 風速	年間又 は月間	
							7m 未満	7 m以上 10m未満	10m以上 15m未満	15m 以上			
年													
平成 21	34.1	-4.0	14.9	98.4	11.2	71.4	64	137	105	59	2.7	1,427.0	
22	36.4	-4.4	15.2	99.2	15.0	71.6	50	146	115	54	2.7	1,468.2	
23	36.8	-5.3	14.8	98.6	13.1	76.5	40	137	131	57	2.7	1,247.5	
24	35.6	-6.0	14.4	98.9	19.0	80.4	43	139	131	53	2.6	1,240.5	
25	37.9	-6.0	15.0	98.9	21.1	80.1	55	119	130	61	2.8	1,216.5	
26	35.9	-5.3	14.7	99.1	19.9	80.8	56	132	127	50	2.6	1,357.0	
27	36.3	-4.4	15.2	99.1	22.2	80.8	66	151	89	59	2.6	1,294.0	
28	36.2	-4.1	15.2	98.7	12.6	78.6	74	141	106	45	2.5	1,180.0	
29	36.1	-4.1	14.9	98.7	14.8	77.7	45	136	106	47	2.5	1,110.5	
30	37.5	-5.0	15.9	98.9	19.6	80.2	58	150	98	59	2.7	1,310.0	
令和 元	36.1	-4.3	15.6	99.2	16.5	80.2	58	144	113	50	2.5	1,377.5	
月													
1	14.6	-4.3	4.1	98.3	24.8	63.7	6	8	8	9	2.4	9.0	
2	17.9	-2.7	6.1	98.8	20.8	71.9	4	14	8	2	2.1	54.5	
令 3	22.5	0.1	9.6	98.7	16.5	73.2	2	8	15	6	2.5	92.0	
和 4	24.1	0.6	12.6	98.5	17.2	73.0	0	8	18	4	2.7	69.5	
元 5	34.5	6.4	19.3	98.6	20.8	75.2	1	13	13	4	2.8	76.5	
年 6	30.8	14.9	21.1	98.6	30.4	86.7	1	15	11	3	2.8	119.0	
の 7	35.0	17.4	23.6	98.8	56.5	92.2	8	15	3	5	2.7	178.5	
内 8	36.1	21.6	27.9	98.4	51.3	87.6	3	16	10	2	2.6	39.0	
訳 9	35.6	16.9	24.3	98.9	45.3	87.6	3	20	5	2	2.5	140.0	
10	30.3	11.4	19.0	99.2	32.7	87.9	7	10	8	6	2.8	413.5	
11	24.0	0.1	12.3	99.2	26.0	81.8	10	9	7	4	2.1	118.5	
12	18.9	-1.9	7.4	99.2	33.4	81.3	13	8	7	3	1.8	67.5	

資料：稲敷消防年報

## 6. 地目別面積

単位：千㎡、各年1月1日現在

区分 年次	総面積	田	畑	宅地	山林	原野	雑種地	その他
平成 6	58,940	7,161	15,933	9,478	15,030	869	3,697	6,772
7	58,940	7,133	15,832	9,579	14,873	852	3,782	6,889
8	58,940	6,954	15,035	9,988	14,016	725	5,106	7,116
9	58,940	6,926	14,880	10,179	13,810	709	5,192	7,244
10	58,890	6,864	14,794	10,329	13,728	699	5,198	7,278
11	58,890	6,834	14,334	10,484	13,545	683	5,540	7,470
12	58,890	6,798	14,215	10,597	13,483	664	5,534	7,599
13	58,890	6,768	14,070	10,739	13,415	640	5,536	7,722
14	58,890	6,735	14,010	10,755	13,370	636	5,632	7,752
15	58,890	6,705	13,935	10,892	13,236	593	5,638	7,891
16	58,890	6,695	13,856	10,977	13,197	591	5,624	7,950
17	58,890	6,686	13,797	11,065	13,135	582	5,622	8,003
18	58,890	6,637	13,721	11,741	13,039	577	5,092	8,083
19	58,890	6,635	13,687	11,976	12,990	571	4,901	8,130
20	58,880	6,622	13,633	12,227	12,934	562	4,675	8,227
21	58,880	6,617	13,607	12,450	12,895	555	4,590	8,166
22	58,880	6,610	13,537	12,661	12,809	554	4,461	8,248
23	58,880	6,605	13,478	12,840	12,757	549	4,359	8,292
24	58,880	6,600	13,453	12,977	12,730	545	4,323	8,251
25	58,880	6,577	13,399	13,028	12,699	537	4,344	8,296
26	58,880	6,573	13,358	13,057	12,674	536	4,366	8,316
27	58,920	6,550	13,279	13,090	12,507	532	4,538	8,424
28	58,920	6,541	13,121	13,196	12,362	533	4,707	8,460
29	58,920	6,537	13,046	13,227	12,134	524	4,967	8,485
30	58,920	6,534	12,976	13,283	12,018	526	5,083	8,500
31	58,920	6,525	12,752	13,300	11,924	528	5,362	8,529
令和 2	58,920	6,476	12,699	13,361	11,622	521	5,707	8,534

資料：固定資産概要・税務課

## 7. 土地取引件数及び面積、その他

単位：㎡

区 分 年 次 (1月～12月)	土地取引件数及び面積(売買・交換等)		国土法届出件数及び面積	
	件 数	面 積	件 数	面 積
平成17	967	568,703.74	11	58,735.30
18	771	373,000.00	9	65,389.97
19	1,157	601,000.00	3	24,172.00
20	2,083	651,000.00	6	9,343.31
21	1,348	496,000.00	3	49,637.81
22	1,036	437,000.00	3	42,970.83
23	1,223	628,000.00	5	15,263.26
24	1,094	496,000.00	9	49,299.60
25	960	502,000.00	10	68,702.00
26	983	669,000.00	34	350,696.00
27	1,080	753,000.00	18	196,111.00
28	1,128	823,000.00	15	131,573.90
29	986	762,000.00	63	552,677.99
30	984	702,000.00	31	160,563.52
令和元	956	642,000.00	13	92,485.05

資料：国土交通省(土地取引規制基礎調査)・都市計画課

### 国土利用計画法の規制面積の推移

年 月 日	国土利用計画法の規制	市 街 化 区 域	市 街 化 調 整 区 域
昭 和 49 年	国土法制定	2,000㎡	5,000㎡
	市街化区域を監視区域に指定	300㎡	
平 成 2 年 3 月 20 日	国土法一部改正(短期転売の禁止)		
平 成 3 年 4 月 1 日	面積変更	100㎡	
平 成 3 年 10 月 1 日	調整区域を監視区域に指定		500㎡
平 成 5 年 2 月 28 日	監視区域指定期間延長		
～平成8年3月31日			
平 成 6 年 4 月 1 日	監視区域面積緩和	300㎡	1,000㎡
平 成 7 年 3 月 1 日	監視区域指定解除	2,000㎡	5,000㎡

資料：都市計画課



## 8. 茨城県内での「うしく」早わかり

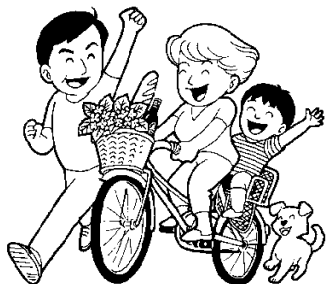
分類	項目	指標値・実数値	県内順位	基準日
土地・人口	総可住地面積	58.92 km <sup>2</sup>	37位	令和元年10月1日
	総人口	47.98 km <sup>2</sup>	35位	平成30年
	世帯人員(1世帯当たり人員)	84,637人	10位	令和元年10月1日
	人口密度(総面積1km <sup>2</sup> 当たり)	2.44人	32位	令和元年10月1日
	*15歳未満人口割合	1,436人	4位	令和元年10月1日
	*15～64歳人口割合	13.0%	7位	令和元年10月1日
	*65歳以上人口割合	58.0%	18位	令和元年10月1日
	出生率(千人当たり)	29.0%	32位	令和元年10月1日
	死亡率(千人当たり)	6.8‰	12位	平成30年
	*高齢単身者割合	8.5‰	42位	平成30年
経済・財政	未外国婚割合	11.37%	26位	平成27年10月1日
	市町村内総生産(名目)	*25.35%	25位	平成27年10月1日
	製造品出荷額等(従業者4人以上の事業所)	1.49%	26位	平成30年12月31日
	商品販売額	220,599百万円	21位	平成29年度
	小売事業所売り場面積	130,683百万円	26位	平成29年
	*第1次産業就業者割合	116,073百万円	15位	平成27年
	*第2次産業就業者割合	106,622m <sup>2</sup>	11位	平成28年6月1日
	*第3次産業就業者割合	1.94%	41位	平成27年10月1日
	自市町村内就業者比率	25.29%	37位	平成27年10月1日
	財政力指数	72.77%	4位	平成27年10月1日
教育・文化	実質公債費比率	15.57%	43位	平成27年
	市町村民税(住民1人当たり)	0.871	9位	令和元年度
	固定資産税(住民1人当たり)	2.1%	42位	平成30年度
	歳出決算総額(住民1人当たり)	67.14千円	16位	平成30年度
	*幼稚園数(3～5歳1万人当たり)	59.10千円	30位	平成30年度
居住・環境	公立小学校児童数(教員1人当たり)	323.26千円	42位	平成30年
	公立中学校生徒数(教員1人当たり)	*26.77園	29位	令和元年5月1日
	運動広場数(10万人当たり)	19.83人	1位	令和元年5月1日
	持ち家比率	14.47人	5位	令和元年5月1日
	水道普及率	5.90所	43位	平成30年10月1日
	下水処理人口普及率	75.34%	25位	平成30年10月1日
	下水処理率	92.88%	34位	平成30年3月31日
社会保障・医療	ごみ収集量(1人1日当たり)	93.7%	6位	平成31年3月31日
	道路実延長(総面積1万m <sup>2</sup> 当たり)	87.7%	6位	平成31年3月31日
	市町村道路舗装率	919g	21位	平成30年度
	自家用乗用車数(千人当たり)	139.78m	7位	平成30年4月1日
	国民年金受給金額(受給権者1人当たり)	68.97%	17位	平成30年4月1日
	生活保護被保護人員(千人当たり)	580.4台	42位	平成31年3月31日
	*保育所等数(0～5歳1万人当たり)	681.8千円	6位	平成31年3月31日
	一般病院数(10万人当たり)	5.9人	32位	平成28年度
	一般診療所数(10万人当たり)	*39.37所	33位	平成30年10月1日
	医師数(10万人当たり)	2.4施設	38位	平成30年10月1日
安全	看護師・准看護師数(10万人当たり)	68.4施設	5位	平成30年10月1日
	歯科診療所数(10万人当たり)	201.7人	8位	平成30年12月31日
	歯科医師数(10万人当たり)	1099.3人	10位	平成30年12月31日
	生活習慣病による死亡者数(10万人当たり)	51.9施設	13位	平成30年10月1日
	国民健康保険医療費(被保険者1人当たり)	74.3人	9位	平成30年12月31日
安全	火災出火件数(10万人当たり)	474.0人	42位	平成30年
	建物火災損害額(1人当たり)	324,351円	20位	平成29年度
	交通事故発生件数(千人当たり)	22.41件	39位	平成30年
	交通事故死傷者数(10万人当たり)	273円	39位	平成30年
	刑法犯認知件数(千人当たり)	3.37件	9位	平成30年

資料：市町村早わかり(茨城県) ※総人口：常住人口調査

\*は、項目名称及び一部計算式変更(統計うしく令和元年度比) 末尾の付録「茨城県内の『うしく』早わかり」計算式一覧参照

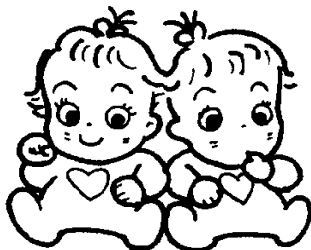
## 9. 市民のくらし

世帯人員



1世帯に2.44人  
(令和元年10月1日)

出生



1日に1.45人  
(令和元年)

死亡



1日に1.97人  
(令和元年)

転入・転出



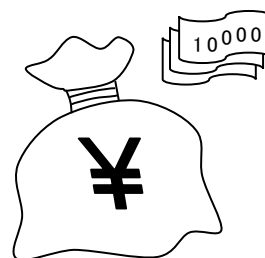
転入：1日に9.73人  
転出：1日に9.76人  
(令和元年)

市職員



市民236.58人に1人  
(平成31年4月1日)

市一般会計



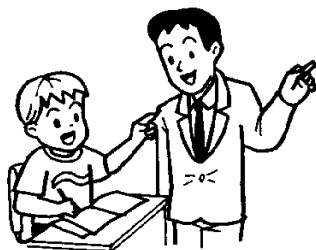
1人当たり351,044円  
(令和元年度決算額)

市税



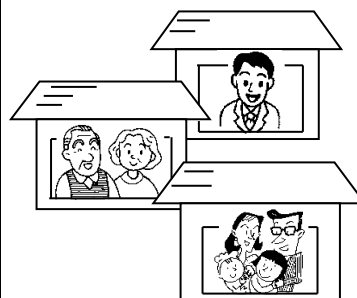
1人当たり144,369円  
(令和2年度当初予算額)

教員



小学校：19.83人に1人  
中学校：14.47人に1人  
(令和元年5月1日)

人口密度



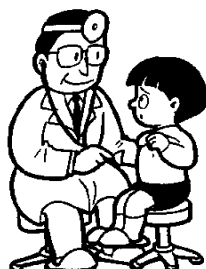
1km<sup>2</sup>当たり1,436人  
(令和元年10月1日)

### 水道給水量



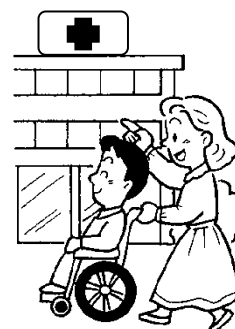
1日20,326m<sup>3</sup>  
(令和元年度)

### 医師 (歯科医師を含む)



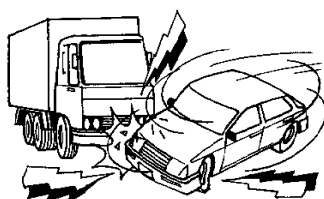
145.81世帯に1人  
(平成30年)

### 医療施設 (歯科含む)



331.56世帯に1ヶ所  
(令和2年4月1日)

### 交通事故



1日0.79件  
(令和元年)

### 火災



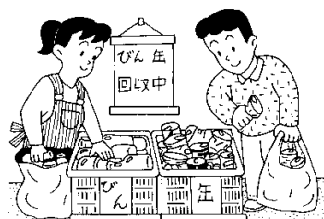
1ヶ月に1.75件  
(令和元年)

### 刑法犯



1日1.25件 (発生)  
(令和2年)

### ごみ処理



1世帯で1日1.62kg  
うち、資源ごみ0.21kg  
(令和元年度)